

目次

今後の大学教育と図書館の役割	1
図書館と「著作権」	3
図書館蔵書の探し方	5
鳥取ライオンズクラブ寄贈資料	6
ミニ・トピックス	7
シリーズ・所蔵資料紹介 「平成12年鳥取県西部地震記録集」	8
2004年外国雑誌情報	10
平成16年度中央図書館カレンダー	12

今後の大学教育と図書館の役割

藤田 安一

私が大学に入学したのは、もう30年も前。当時を振り返って、大学に関し、ともかくも驚いたことは3つある。それは、大学の広さと変則的なカリキュラム、そして図書館の存在であった。

まず、高校では、狭い敷地に密集して校舎が立っただけに、大学は非常に広くゆったりとしているものを感じられた。つぎに、高校では毎日、朝から夕方まで学級単位で学んでいたことに比べて、大学では選択できるカリキュラムに驚いたものだ。最後に、高校では校舎の隅の一室に、小さな図書室があっただけ。そこに収納されていた図書の数もわずかであった。しかし、図書室とはそういうものであると思っていたので、とりたてて不満もなかった。それが大学では、建物として独立した立派な図書館があって、並んでいる図書の多さにびっくりしたものだ。

高校と言ったが、実は図書室の規模は、小学校でも中学校でも高校でも似たり寄ったりで変わらない。それに比べて、大学の図書館の規模の大きさは、明らかに小・中・高校と大学との違いを象徴するものであった。この違いは、何を意味するのか。

もちろん大学の図書館は、私たち研究者の資料を提供する以外にも、学生の教養教育や各種の専門教

育の要求に応えなければならぬ。そのため、必然的に図書館は膨れ上がる。しかし、その理由は、これだけではなさそうだ。学生が、単位を取るための強制された教育のために図書館を利用する以外に、自発的に学ぶ場として大学がある限り、その場を提供する図書館の存在意義は大きい。

しかし、今の大学生を見ていると、自発的に学ぶ意欲が少なくなっているようだ。このことが、最近、図書館の学生の利用率を伸びなくしている大きな原因の一つとなっているのではないか。それについては、興味のある、こんなエピソードを紹介しておこう。

かつて、政治思想史家・丸山眞男が述べた言葉が、妙に私の心に残っている。それは、「東大で教えられなかったこと」をテーマに、ある総合雑誌で座談会が組まれた時のこと。丸山眞男は、その座談会のテーマにひっかかった。「東大で学ばなかったこと」というなら納得はいくが、「東大で教えられなかったこと」というのでは、余りにも学問することを受身的にとらえすぎている。大学生は教えられることを期待するのではなく、自ら学ぶという積極的な姿勢を



持っていなければならないからだ。丸山は言う。

「最近の総合雑誌に『東大で教わらなかったこと』という座談会がのっている。その出席者は諸君の先輩であり、その中には私の演習の参加者もいる。座談会の内容はそれなりに面白い。けれども私が真先にひっかかったのはタイトルである。『東大で学ばなかったこと』ならまだ通じる。『教わらなかったこと』とは何事ぞやと私は慨嘆これを久しうした。小中学生ならいざ知らず、大学生は、教師からいわば『勝手』に吸収できる養分を吸収すればよいのであって、『教えてくれる』ことを期待する方がどうかしている。というのが私達のような『古い』戦前派の感覚なのである。このタイトルはおそらく編者がつけたものであって、出席者に責任はないだろう。しかしそういう発想に象徴されている何ものかが問題なのである。」(丸山眞男「卒業する諸君に」『丸山眞男集』別巻所収、岩波書店)

上記のことを今の学生に述べたとしても、どれだけ理解してもらえるだろうか。受験教育の中で与えられた教科書や参考書の内容を、もっぱら暗記することに慣らされてきた現在の学生に、どれほど丸山の主張が受け入れられるだろうか。

しかし、私には、丸山の言わんとすることが、現在ますます重要な意義をもっている、と思われる。その理由は、つぎのとおりだ。

現在日本の社会は、長期にわたる深刻な不況のなかで、企業倒産や失業者の大量発生、自己破産や自殺の急増、陰惨な事件の多発など、目をおおいたくなるような状況にある。そのせいか、国民は生活不安を急速に高めている。しかも、あるアンケートによると、老後の不安を最も強く感じているのは、なんと30歳代で、つぎに40歳代、20歳代、50歳代、60歳代とつづき、若い世代ほど現在の高齢者よりも強く老後の不安をもっていることがわかる。

しかも、この状態が将来的に改善されるどころか、ますますひどくなるのではないかと予感させられる。いわば、「夢がもてない社会」に入り込んだかのようなのである。こうした社会の状況が、思わぬ悪影響を大学生に与えている。

ある学生が言った言葉が印象的であった。

「サークルの先輩たちの様子を見てみると、非常に就職がむずかしそうで心配しています。将来、就職できないかもしれないと思うと、時々、今している勉強が無意味に思えてきます。」

この学生の言った言葉からは、就職の困難さ 学習意欲の衰退 学力の低下という関連がみてとれる。すなわち、大学生にとって今の勉強が無意味に思えるほど将来の自分の進路は暗く、そのことが現在の学習意欲を衰えさせ、学力の低下を招いている。実にこのことは、私たち大学教員が、日々、多くの学生と接して痛感していることである。ここには、学生が就職を通しての社会参加の機会を阻まれ、自己の進路に悲観的にならずにはおれない現代社会のあり方と「学力低下」問題との関連をみることができる。

したがって、現代社会の状況によって引き起こされる大学生の学習意欲の衰退現象に歯止めをかけ、学生が学ぶ意欲を向上させ、社会に出てからもその意欲を持続させる契機を創ることは、今後の大学教育の重要な役割である。

学ぶという積極的な姿勢は、別に大学生に限らないとはいえ、大学生に特に求められるものであろう。なぜなら、いったん社会に出てからは、学校におけるような教師や教科書はないのだから、自ら学ぼうとする意欲をもたなければ、ただ時代に流されるだけである。主体的・自覚的に生きようとする限り、何らかの強制力がなくても、自ら学ぼうとする姿勢を養う場として、大学は特に重要な存在である。

それにもかかわらず、従来から日本の大学教育は、わが国の学校教育全体のなかで最も脆弱な存在として、社会から次のような厳しい批判の矢面に立たされてきた。

「日本の教育体系のうちでも大学は“最も脆弱な”部分として、つまり世界に冠たる能率的な学校教育と、世界に比類のないほどいきとどいた企業内教育との間にはさまれた、空虚な息抜きの場にすぎず、高等教育機関であるよりは人材の選別・配給をになう仕分け装置に堕ちた“試験地獄”の元凶として、とくに国際的評価は甚だ芳しくない。」(喜多村和之編『大学教育とは何か』玉川大学出版)

しかし、今では小・中・高校の教育現場には、不

登校、いじめ、学級崩壊など深刻な問題が山積している。他方、企業も現在の不況の中で、新入社員の社内教育をしっかりと行うゆとりを失っている。この事態に大学は脆弱であると批判されるどころか、今こそ、大学教育の持っている利点を、小・中・高校の教育に生かすようにすることが必要ではなからうか。その大学の利点とは、単なる知識の詰め込みではなく、学問することの面白さを伝え、学生が自ら学ぶ意欲を高めるような教育を行うことである。

そのため現在、大学は学生の学ぶ意欲を向上させようと、さまざまな工夫をしている。たとえば、大学に入学したての学生に対する補習授業の実施、教授方法の改善や研究授業制度の導入による「わかりやすい授業」の工夫、GPA制度の導入による学生の成績評価の改善などがあげられよう。

こうした大学教育の改革の中で、当然、大学図書館も無関係ではない。

これまで大学の図書館は、もっぱら学生が自発的な学びの主体であることを前提に存在してきた。その前提が維持されていた限り、図書館は、この学生の要求に応える、いわば「受身的存在」でも十分に意義があった。

しかし、その前提が危うくなってきている今、図書館がいつまでも受身的対応に終始している限り、次第にその存在意義を弱めていくことは明らかであろう。したがって、もっと積極的に大学図書館は、学生の学ぶ意欲を高めるために何ができるか こうした視点にたつて、今後、大学教育の中での図書館の役割を強めて行くことが必要であろう。

(教育地域科学部教授)

図書館と「著作権」

「著作権」についてとりきめた法律を「著作権法」といいます。「著作権法」では、著作物を「思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するものをいう」と定義しており、この定義にあてはまるものであれば著作物となります。著作物を創作した人を著作者といえます。そして、著作物を複製したり、出版したり、放送したりして利用することについて、著作者に認められる権利を「著作権」といいます。「著作権」は著作物を利用して収益をあげることのできる財産的な価値のある権利です。また、著作者は人格的な利益を保護される著作者人格権をもっています。これらの権利は、著作物を創作した時点で発生し、登録等の手続きを一切必要としません。なお、「著作権」は原則として著作者の死後50年間まで保護されます。このような著作権制度は、著作者の利益を保護することによって文化の発展に寄与することを目的としています。

図書館資料のコピーを取るときや、インターネット上の情報(画像や文章)を引用するときなどには、

「著作権」のことを意識して、「著作権法」に違反しないように心がけてください。このうち、図書館内で図書館資料のコピーを取る場合に注意すべき点について知っていただきたいと思います。

図書館内で図書館資料のコピーを取る場合は、「著作権法(第31条)」で認められる範囲に限定されません。

著作権法(第31条)

(図書館等における複製)

図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの(以下この条において「図書館等」という。)においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料(以下この条において「図書館資料」という。)を用いて著作物を複製することができる。

1. 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作

物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複製物を一人につき一部提供する場合

2. 図書館資料の保存のため必要がある場合
3. 他の図書館等の求めに応じ、絶版その他これに準ずる理由により一般に入手することが困難な図書館資料の複製物を提供する場合

したがって、図書館内のコピー機でコピーできる条件として次のことが必要です。

利用者の求めに応じたものであること。
図書館が所蔵している資料を用いて複製すること。

調査研究の目的のための複製であること。
公表された著作物の一部分の複製であること。（一部分とは少なくとも半分を超えないこと）。ただし、次号が既に出版されており、通常の入手経路では入手できなくなった雑誌のように、発行後相当期間を経過した定期刊行物中の個々の著作物については、全部を複製することができる。

利用者一人につき一部の複製であること。

図書館内に設置されたコピー機を使用してコピーを取る際は、これらの条件を満たしているかに注意して、「著作権法」に沿った複写を行ってください。また、図書館内のコピー機を使用する場合は必ず所定の申込用紙に記入して下さい。

図書館内のコピー機でこんな複写をしていませんか？

図書館備え付けの申込用紙に記入しないでコピー機を利用する。

所定の申込用紙に記入して下さい。

（条件 ）

授業のノートを複写する。

友人の所有する教科書を複写する。

図書館が所蔵している資料ではないので複写できません。（条件 ）

観光旅行に行くため地図を複写する。

鑑賞のために絵画を複写する。

娯楽のための複写はできません。

（条件 ）

地図帳の見開き一ページ全部を複写する。

本一冊まるごと全部を複写する。

著作物の半分を超える複写はできません。（条件 ）

雑誌の最新号の論文を複写する。

最新号の複写はできません。（条件 ）

自分の分を複写するついでに友人の分も複写する。

紛失したときのために二部複写する。

一人につき一部しか複写できません。

（条件 ）

ただし、何れの場合も著作権者の許諾を得れば、この限りではありません。

著作権に関するもっと詳しい情報は、インターネット上の「著作権Q & Aシリーズ（社）著作権情報センター（<http://www.cric.or.jp/>）を参照してください。



図書館蔵書の探し方

この本・こんな本は図書館にあるかしら、と思っ
たら、OPACを検索してみましょう。OPACは
Online Public Access Catalogueの略語で、オンラ
インで検索できる蔵書目録のことです。鳥取大学附
属図書館のホームページの“鳥取大学OPAC”をク
リックすると、学内に所蔵する図書、雑誌などが検
索できます。館内には専用のPCも5台あります。
OPACでは、探している資料の書名、著者名、出版

者、キーワードなどから

- ①その資料を学内に所蔵しているかどうか
- ②学内のどこ（図書館のどこの棚？研究室？）に所蔵しているのか
- ③特定の内容について書かれた、学内で所蔵している資料にはどんなものがあるかを調べることができます。

例えば、検索結果がこんなふうだったら・・・、



所蔵状況を見て下さい。

項番1から3が表示されているので、この図書は学内に3冊あることがわかります。それぞれの**配架場所**は“図書館郷土”“図書館開架”“図書館教官著作”となっています。これは3冊とも図書館の中の、郷土資料室・開架書架・教官著作コーナーにそれぞれ

1冊ずつあるということです。配架場所にアルファベットや数字が表示されている時は、その資料は研究室に所蔵しています。その配架場所がどこのかは**研究室コード表**をご覧ください。図書館内の資料の配置については、館内にある資料配置図や利用案内なども参考にしてください。

次に「請求番号」を見て下さい。これは図書の背表紙に貼ってあるラベルの番号です。



- ・・・分類番号
- ・・・著者記号
- ・・・全集の巻次

ラベルはこのように3段になっています。1段目は分類番号、2段目は著者記号、3段目は全集の巻次などを表します。OPACの表示ではコロンで段が変わることを示します。1段目の分類番号は、図書の内容を日本十進分類法に基づいて分類した番号です。図書館に配架されている図書はそれぞれの配架場所（図書館開架、図書館参考など）ごとに、この分類番号順に並べられています。このように並べているのは、資料をOPACで検索して探すことも、探している資料の分類番号で直接書架を見て探すこともで

きるようにしているからです。

次は「資料状態」を見て下さい。“書架”と表示されているものは貸出中ではないという意味です。貸出中の資料は、返却された時にすぐに借りられるように予約をすることもできます。画面うえの「予約依頼」ボタンをクリックし、必要事項を入力して下さい。

OPACを検索して本を見つけることは、図書館利用の第1歩です。でも慣れない建物の中で探し物をするのは大変なもの。ぜひ早いうちに一度図書館で行われる利用者講習会に参加してみてください。また図書館には本や雑誌が置いてあるだけでなく、ホームページを窓口にインターネットで様々なサービスを行っています。そのサービスの中には、大学で契約している有料のデータベースなど、学内からしか利用できないものもあります。学校図書館や公共図書館とは違う大学図書館のサービスもどんどん利用してみたいと思います。

鳥取ライオンズクラブから ビデオ、DVDの寄贈を受けました!!

平成14年度に引き続き、鳥取ライオンズクラブから資料の寄贈を受けました。

これは、本学の外国人留学生のみなさんの充実した学生生活を助成するために、平成7年度から継続して毎年10万円相当の日本の伝統・文化、風俗・習慣、日

本語などに関する図書等が寄贈されているものです。平成15年度末現在、合計293点を数えています。

2階の日本紹介コーナーに配架していますので、是非ご利用ください。なお、ビデオ、DVDの利用はカウンターで受け付けています。

平成15年度鳥取ライオンズクラブ寄贈資料

品名	書名	発行所・発行年	数量
ビデオソフト	「列島縦断 日本の自然遺産」ビデオ10巻組	ビクター・エンタテインメント(株)2000	10
DVDソフト	「映像の世紀Vol.11」	NHKソフトウェア2000	1
ビデオソフト	「にっぽん夢紀行」ビデオ1-8, 10巻	キングレコード(株)	9
ビデオソフト	「ニュース映画に見る・懐かしの日本 昭和30年代の生活と文化 9中国・四国編」	東映(株)	1
DVDソフト	「となりのトトロ」	ブエナ ビスタ ホーム エンターテイメント社2001	1
DVDソフト	「魔女の宅急便」	ブエナ ビスタ ホーム エンターテイメント社2001	1
DVDソフト	「男はつらいよ寅次郎の告白」	松竹株式会社/東芝デジタルフロンティア株式会社2000	1
DVDソフト	「私をスキーに連れてって」	ポニーキャニオン社2003	1
合 計			25

ミニ・トピックス

公開展示と講演会を開催

平成15年12月9日から15日までの一週間にわたり、「エンブレム(寓意図像集)関係コレクション展」と題した一般公開展示を附属図書館玄関ホールで開催しました。これは、平成14年度の文部科学省特別図書購入費(大型コレクション)で購入した稀覯書6点(本誌前号で詳しく紹介)を中心に、本学で所蔵しているその関連資料約40点を集めて展示したものです。

また、その間の12月11日、前副学長・附属図書館長の高阪一治教育地域科学部教授を講師に招き、「図像表現と西洋美術の歴史 - ことば

と視覚表現(イコノグラフィー、イコノロジー、アレゴリー、エンブレム) - 」の講演会を一階会議室で開催しました。講演では、美術史研究の序論からイコノロジーの美術史学にいたるまでを概観しながら、寓意表現(アレゴリー)とエンブレムについて映像をまじえながら説明があり、学内外から集まった40名の参加者は興味深く聴き入りました。この後、引き続いて展示資料を実際に手に取りながら詳しい解説があり、大変好評を博しました。



平成16年度附属図書館委員会委員 (平成16年4月1日現在)

附属図書館長	小林 一 (15. 1. 1~16.12.31)	連合農学研究科	森 信寛 (15.12.20~17.12.19)
医学部分館長	吉田 春彦 (16. 4. 1~18. 3.31)	地域共同研究センター	岡本 尚機 (15.12.20~17.12.19)
地域学部	田中 仁 (15.12.20~17.12.19)	生命機能研究支援センター	森本 稔 (15. 8. 1~17. 3.31)
"	伊藤 紀子 (14.12.20~16.12.19)	乾燥地研究センター	井上 光弘 (15.12.20~17.12.19)
医学部	前田 隆子 (15.12.20~17.12.19)	医学部分館(運営委員)	尾崎 米厚 (15. 4. 1~17. 3.31)
工学部	松原 雄平 (15.12.20~17.12.19)	大学教育総合センター	藤田 安一 (15. 4. 1~17. 3.31)
"	坂口 裕樹 (14.12.20~16.12.19)	総合情報処理センター	山岸 正明 (15. 4. 1~17. 3.31)
農学部	北本 豊 (14.12.20~16.12.19)	地域学部	塩見 邦彦 (15. 1. 1~16.12.31)
"	真鍋 久 (15.12.20~17.12.19)		

シリーズ：所蔵資料紹介

「平成12年鳥取県西部地震記録集」

西田良平

平成12年鳥取県西部地震は2000年10月6日午後1時30分に鳥取県西伯町に発生し、地震の波は広く西日本に伝わり、多くの人々を驚かせた。地震被害は震央域である鳥取県西部・島根県東部地域に集中した。地震の大きさは1995年兵庫県南部地震（阪神淡路大震災を引起した地震）と同じ、マグニチュード7.3の内陸地震であった。この大地震では激しい揺れが発生したにもかかわらず、被害は少なかった。一番激しく揺れる地域のほとんどが山間部にあり、山崩れなど多数発生したが、人的被害は少なかった。また、地震発生時間が午後1時30分で、人の活動時間であったことと、倒壊家屋が少なかったことにより、地震による直接の死者がない、また火災の発生が0件、という内陸大地震では最小限の被害であった。そして、鳥取県が米子市で7月に災害訓練を実施していたので、10月6日の地震時にはその時のマニュアルが生かされ、片山知事のトップダウンでの先見性を持った災害対応・対策が迅速・適切に実行された。地震対策が大変よく機能した例を示した。

しかし、震度6強の日野町黒坂、下榎などでは、家屋の倒壊、山間部での斜面崩壊、落石などの地震動による被害が発生し、道路は寸断され、鉄道は長い間不通となり、住民生活に多大な影響を与えた。それぞれの村にある簡易水道は水源などが地震動により破壊され、社会への影響が大きかった。震源から約30km離れた境港市では強震域が出現して、地盤は液状化現象により、道路はでこぼこ、家屋は傾くなどの被害が発生した。しかし、ボランティアをはじめ、地域住民の助け合いは震災の復興に大きな力となった。

これらの鳥取県西部地震に関する情報は発信され、いろいろな団体が報告会を開き、記録に留めている。被害状況は、いろいろな面で調査・報告されているが、時間と共に多くの書類の中に消え去り、やがて破棄されて

行く。特に、死者0名の地震は、教訓がないとの通念から省みられることがない。9年前の阪神・淡路大震災のモニュメントがいたるところに建立されていることに比べれば、一目瞭然である。

鳥取県西部地震はなぜ被害が少なかったかを、検証する作業は現在も続けられているが、なかなか目にする機会はない。これは資料の消失が既に始まっていることを示す。地震発生時の生の声や写真など、現場から出されている報告を収集・整理し、保管・公開・展示しておくことは、鳥取県西部地震を後世に伝えるために大切な作業である。

鳥取県と鳥取大学は地域貢献事業の1つとして、鳥取県西部地震の記録収集をして、保管・展示・公開することを平成14年度に実施した。これまでに収集していたものや、新たに収集したものを整理して、県下3ヶ所で公開している。鳥取県庁、日野郡日野町の総合事務所と鳥取大学図書館の3箇所である。資料は個人が収集整理したものから、行政が被害を分析・整理したものまで、また、小学生が地震のことについて勉強しまとめたものから、地震の研究者・地震工学の専門家が観測・研究したものまで、計86点が整理されて納められている。収集された分野も、地震災害関係が多いが、社会科学、医学関係、自然科学関係など多岐に渡って収集されている。

報告書など資料だけでなく、被害写真など、CD-ROMに収録している。また、「平成12年鳥取県西部地震」のホームページを立ち上げて、公開し、活用できるようにしている。

鳥取大学の図書館郷土資料室での公開は、この資料集の「保存・公開・活用」ができる最適な場所である。これからも資料の収集を行い、鳥取県西部地震の資料として、大いに活用していただきたい。

（工学部土木工学科 教授）

鳥取県西部地震記録保存資料一覧表

NO	資料名	発行先	NO	資料名	発行先
1	平成12年鳥取県西部地震の記録	鳥取県防災危機管理課	45	鳥取県西部地震対応記録誌	(社)鳥取県建築士事務所協会
2	平成12年鳥取県西部地震震災体験記録	鳥取県防災危機管理課	46	2000年鳥取県西部地震～保健相談活動とメンタルヘルス～	鳥取県立精神保健福祉センター
3	米子震災フォーラム～鳥取県西部地震の教訓を活かして～報告書	米子震災フォーラム事務局(鳥取県防災危機管理室)	47	地域病院のめざす坂の上の雲～震災、その時わたしは～	日野病院
4	鳥取県西部地震記録集	米子市	48	鳥取県西部地震 被災者支援活動報告	鳥取県臨床心理士会
5	平成12年鳥取県西部地震 境港市の記録	境港市	49	被害状況	大篠津郵便局
6	鳥取県西部地震記録集 西伯町の記録	西伯町	50	被災状況調査報告一覧表及び防災活動	西伯町商工会
7	鳥取県西部地震 2000.10.6日野町の災害・復興への記録	日野町	51	国土地理院時報 第95集 (2001)	国土地理院
8	2000年10月6日 鳥取県西部地震震災報告書	米子市水道局	52	下水道協会誌 vol.39 No.476 (2002/6)	(社)日本下水道協会
9	鳥取県西部地震に伴う公共土木施設の震災災害復旧事例集	日野総合事務所県土整備局・米子地方県土整備局	53	鳥取県西部地震 - 安来市の記録 -	安来市
10	鳥取県西部地震による道路橋被災に関する調査委託業務報告書	鳥取県土木部、米子土木事務所、(株)長大	54	平成12年鳥取県西部地震関係資料	安来市能義消防組合 消防本部
11	被災宅地危険度調査状況	(鳥取県都市計画課)	55	平成12年鳥取県西部地震による水道被害とその影響調査	鳥大工学部 細井由彦
12	応急危険度判定時の写真(「平成12年鳥取県西部地震」記録集)	(鳥取県建築課)	57	自然災害科学J.JSND 20-3(2001) pp.235-306	(日本自然災害学会)
14	鳥取県西部地震資料	(鳥取県中部県民局)	58	2000年10月鳥取県西部地震による災害に関する調査研究	京大防災研究所 梅田康弘
15	被害状況(溝口家畜保健所)	鳥取県畜産課	59	平成12年(2000年)鳥取県西部地震節杭を用いた建物の調査報告書	(株)ジオトップ
16	鳥取県営工業団地液化化対策検討委員会報告書資料(本誌及び別冊)	鳥取県企業局	60	平成12年鳥取県西部地震被害調査報告書(速報)	清水建設(株)技術研究所
17	鳥取県西部地震による被害状況(平成12年度企業局技術職員研修)	鳥取県企業局	61	港湾施設地震被害解析調査委託報告書(概要版)	(財)沿岸開発技術研究センター
18	鳥取県西部地震記録集	鳥取県教育委員会	62	鳥取県西部地震被災調査報告書	(社)建設コンサルタンツ協会 中国支部
19	弓ヶ浜半島液化化対策研究会報告書	鳥取県	63	港湾空港技術研究所資料 No.1015	独立行政法人 港湾空港技術研究所
20	鳥取県西部地震関係資料	鳥取県警察本部	64	毎日新聞スクラップ(「平成12年鳥取県西部地震」記録集)	毎日新聞
21	資料(「鳥取県西部地震の初動対応の状況と教訓」他)	自衛隊鳥取地方連絡部	65	朝日新聞スクラップ(「平成12年鳥取県西部地震」記録集)	朝日新聞
22	資料(「鳥取県西部地震」)	陸上自衛隊第8普通科連隊	69	こころのけんこう 第28号	鳥取県精神保健福祉協会
23	災害派遣資料	(航空自衛隊第3輸送航空隊)	70	鳥取県西部地震災害調査報告書	島根大学鳥取県西部地震災害調査団
24	鳥取県西部地震の概要と検証	鳥取県西部広域行政管理組合消防局	71	平成13年夏自由研究 鳥取県西部地震について	境小学校4年梅組 松本崇
25	資料(平成12年鳥取県西部地震)	(鳥取県市長会)	72	広報ひのH12.10月号 No.561	日野町
26	「元氣いっぱい!鳥取県」キャンペーン事業	((社)鳥取県観光連盟)	73	広報ひのH12.11月号 No.562	日野町
27	鳥取県西部地震復旧記録	中国電力(株)鳥取支店	74	なるふる No.23 特集:2000年鳥取県西部地震	(社)日本地震学会
28	鳥取県西部地震災害報告書	日本道路公団中国支社	75	鳥取県西部地震における液化化被害(第26回地震工学研究発表会講演論文集)	(中電技術コンサルタント)
29	鳥取県西部地震災害報告書 ダイジェスト版	日本道路公団中国支社	76	検証・2000年鳥取県西部地震(4)被災域の防災対応	愛知淑徳大学 太田裕・鳥取大学 西田良平
30	鳥取県西部地震(平成12年10月)鉄道復旧記録誌	西日本旅客鉄道(株)米子支社	77	平成12年鳥取県西部地震の記録	溝口町
31	鳥取県西部地震の被害と復旧状況	NTT西日本鳥取支店災害対策本部	80	自治会資料	口陰田自治会会長 足立良彦
32	平成12年鳥取県西部地震への対応について	日本赤十字社鳥取県支部	81	被災者生活再建支援についてのご案内	鳥取県
33	震災復旧工事労働災害防止「ゼロ災害」推進大会	鳥取労働局	82	被災された方への米子市からのお知らせ(各種支援制度について)	米子市
34	災害復旧支援に携帯電話等を貸出し等実施	総務省中国総合通信局	83	自治会だより 安倍 No.35	安倍自治会会長 木島淳文
35	鳥取県西部地震政府所有食料等被害状況	(広島食料事務所鳥取事務所)	84	個人提供資料:写真(「平成12年鳥取県西部地震」記録集)	溝口町 円山堯士他撮影提供
36	鳥取県西部地震資料(大阪管区気象台管内地震活動他)	鳥取地方気象台	85	「鳥取県西部地震」2周年県民大会報告書	鳥取県(防災危機管理課)
37	鳥取県西部地震災害ボランティア活動の概要	鳥取県社会福祉協議会ボランティアセンター	86	「鳥取県西部地震」を考える鳥取県民大会 報告書	鳥取県防災危機管理課
38	災害ボランティア(米子市災害ボランティアセンター～災害ボランティア活動の記録～)	米子市ボランティア協議会	87	心と社会 33巻1号(No.107の97ページからの論文)	日本精神衛生会
39	写真(鳥取県西部地震に伴う地滑りの状況)	((社)鳥取県警備業協会)	88	街ing 第4号臨時増刊号	鳥取県住宅供給公社
40	鳥取県西部地震被災状況の概要	日本下水道事業団大阪支社鳥取工事事務所	89	鳥取県西部地震に伴う左横ずれ変位について 資料集	(株)ダイヤコンサルタント
41	対応状況及びアンケート調査	(社)鳥取県建築士会	90	全半壊建物位置図	境港市役所
42	智頭急行(報告書)	智頭急行(株)	91	港湾施設地震被害解析調査委託 鳥取県西部地震に関する調査整理業務 報告書	(財)沿岸開発技術研究センター
43	日野川工事事務所(被災写真)	(日野川工事事務所)	92	米子市地域防災計画(震災対策編)	米子市防災会議
44	街ing 第5号	鳥取県住宅供給公社	93	CD-ROM版「平成12年鳥取県西部地震記録集」	鳥取県

2004 年 外 国 雑 誌 情 報

【新規購入雑誌】

Agricultural Water Management.	アメリカ	農	北村
Artificial Life and Robotics.	ドイツ	工	知能情報
European Educational Research Journal. (電子ジャーナル)	イギリス	教	柿内
Inhalation Toxicology.	アメリカ	農	家畜病理
Journal of Biological Chemistry. (電子ジャーナル)	アメリカ	共	生化学
Journal of Peace Education.	イギリス	教	ケイツ
La Nouvelle Revue Francaise.	フランス	教	松本雅
Second Language Research.	イギリス	留学セ	御館
TESOL Quarterly + Essential Teacher. (formerly: TESOL Quarterly + TESOL Journal)	アメリカ	大教セ	サージャント
Time.	アメリカ	教	森川
Times Educational Supplement.Scotland.	イギリス	教	柿内
Water Waste Digest (formerly:Water Engineering & Management).	アメリカ	工	土木工学

【中止雑誌】

Acta Oto-laryngologica.	ノルウェー	工	知能情報
Acta Sociologica.	ノルウェー	教	国歳
American Journal of Sociology.	アメリカ	教	国歳
American Sociological Review.	アメリカ	教	国歳
Animal Science.	イギリス	農	畜産学
Annals of Mathematics. Ser. 2	アメリカ	教	石川雅
ASCE: Journal of Engineering Mechanics.	アメリカ	農	服部
ASCE: Journal of Hydraulic Engineering.	アメリカ	農	北村
Aviation, Space, and Environmental Medicine.	アメリカ	工	知能情報
Biochemistry.	アメリカ	共	生化学
British Journal of Nutrition.	イギリス	農	畜産学
British Journal of Sociology.	イギリス	教	国歳
Canadian Journal of Animal Science.	カナダ	農	畜産学
Canadian Journal of Sociology.	カナダ	教	国歳
Communications of the ACM.	アメリカ	工	電気電子
Comparative Studies in Society and History.	イギリス	教	国歳
Deutsche Vierteljahrsschrift fur Literaturwissenschaft und Geistesgeschichte.	ドイツ	教	高阪
Developmental Review.	アメリカ	教	田丸
Differential Geometry and its Applications.	オランダ	教	小島
Disability and Society.	イギリス	教	横須賀
Earth Surface Processes and Landforms. (電子ジャーナル)	イギリス	農	奥村
Enfance.	フランス	教	高取
Environment and Planning. A	イギリス	工	社会開発
Ethnic and Racial Studies.	イギリス	教	仲野
Ethnicities.	イギリス	教	仲野
Geographical Review.	アメリカ	教	山下
Geophysical Journal International.	イギリス	工	土木工学
Geschichte und Gesellschaft.	ドイツ	教	武田元
Historische Zeitschrift.	ドイツ	教	武田元

Human Nature.	ドイツ	教	高取
IEEE Journal of Quantum Electronics.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Electron Devices.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Energy Conversion.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Evolutionary Computation.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Parallel and Distributed Systems.	アメリカ	工	知能情報
IEEE Transactions on Pattern Analysis and Machine Intelligence.	アメリカ	工	電気電子
IEEE Transactions on Power Electronics.	アメリカ	工	電気電子
International Journal for Numerical Methods in Engineering.	イギリス	工	土木工学
Journal of Biological Chemistry.	アメリカ	共	生化学
Journal of Fluid Mechanics.	イギリス	工	土木工学
Journal of Geophysical Research. C/D	アメリカ	工	土木工学
Journal of Hydrology.	オランダ	工	土木工学
Journal of Luminescence.	オランダ	工	電気電子
Journal of Natural Products.	アメリカ	農	木村・中島
Journal of Research in Science Teaching.	アメリカ	教	杉本
Journal of Wildlife Management + Wildlife monographs.	アメリカ	農	畜産学
Kolner Zeitschrift fur Soziologie und Sozialpsychologie.	ドイツ	教	国歳
Limnology and Oceanography.	アメリカ	工	社会開発
Mathematics and Computers in Simulation.	オランダ	工	電気電子
Mechanics of Structures and Machines.	アメリカ	工	土木工学
Nature Biotechnology.	アメリカ	演	中田
Philosophical Review.	アメリカ	教	田畑
Physics of the Earth & Planetary Interiors.	オランダ	工	土木工学
Physiologia Plantarum.	デンマーク	農	山本福
Proceedings of the National Academy of Sciences of U.S.A.	アメリカ	共	生化学
Prospects: Quarterly Review of Education. English edition.	フランス	教	柿内
Regional Studies.	イギリス	工	社会開発
Sensors and Actuators B.	スイス	工	電気電子
Sexuality and Disability.	アメリカ	教	横須賀
Shakespeare Quarterly.	アメリカ	教	岡村
Sociological Review.	イギリス	教	国歳
Sociology.	イギリス	教	国歳
Solid State Electronics.	イギリス	工	電気電子
Sprache-Stimme-Gehoer: Zeitschrift fur kommunikationsstorungen.	ドイツ	大教セ	渡邊
Structural and Multidisciplinary Optimization.	ドイツ	工	土木工学
Surface and Interface Analysis.	イギリス	工	電気電子
Systems and Control Letters.	オランダ	工	知能情報
TESOL Quarterly + TESOL Journal.	アメリカ	大教セ	サージャント
Theoria.	スウェーデン	教	田畑
Theory Culture & Society.	イギリス	教	仲野
Times Educational Supplement.	イギリス	教	柿内
Transactions of ASAE. Irrigation Engineering Special Ediction.(廃刊)	アメリカ	乾	矢野
Water Engineering & Management. (廃刊)	アメリカ	工	土木工学
Water Environment Research.	アメリカ	工	土木工学
Wirkendes Wort.	ドイツ	大教セ	渡邊
Zeitschrift fuer Soziologie.	ドイツ	教	国歳
Zeitschrift fuer Sprachwissenschaft.	ドイツ	大教セ	渡邊

平成16年度 鳥取大学中央図書館カレンダー

通常：9:00～21:00

試験期：9:00～22:00

図書整理日：13:00～21:00

土日祝日開館日・休業期の平日：9:00～17:00

休館日

2004 4 Apr						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5 May						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6 Jun						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7 Jul						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8 Aug						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9 Sep						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10 Oct						
S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11 Nov						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12 Dec						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2005 1 Jan						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2 Feb						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3 Mar						
S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

鳥取大学附属図書館報 第103号(2004年3月発行)

編集・発行：鳥取大学附属図書館 〒680-8554 鳥取市湖山町南4丁目101 ☎0857-31-6728
ホームページアドレス <http://www.lib.tottori-u.ac.jp>